

◎債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）に関する取極の修正及び債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）に関する日本政府とキルギス共和国政府との間の交換公文

（略称）キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極の修正及び債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）猶予方式）取極

平成十七年九月十三日ビシュケクで
平成十七年九月十三日効力発生
平成十七年十月十八日告示

（外務省告示第一〇〇七号）

目次

日本側書簡

I

- 1 二千一年十月十一日付けの書簡2の修正 七八三
- 2 二千一年十月十一日付けの書簡4の修正 七八三
- 3 二千一年十月十一日付けの書簡の新たな付表一、付表二及び付表三 七八四

ページ

II

- 1 債務救済措置 七八四
- 2 繰延債務の額 七八四
- 3 債務繰延べの条件 七八四

4 支払猶予債務の支払	七八五
5 協議	七八六
付表一 繰延債務の内訳（二千一年十月十一日付けの書簡の新たな付表一）	七八八
付表二 繰延債務の内訳（二千一年十月十一日付けの書簡の新たな付表二）	七八九
付表三 繰延債務の内訳（二千一年十月十一日付けの書簡の新たな付表三）	七九〇
付表四 繰延債務の内訳	七九一
附属書	七九二
キルギス側書簡	七九四

(債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）に関する取極の修正及び債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）に関する日本国政府とキルギス共和国政府との間の交換公文)

（日本側書簡）

（Japanese Note）

（訳文）

日本側書簡

書簡をもつて啓上いたします。本官は、国際協力銀行（以下「銀行」むふへ。）に対するキルギスの債務についての債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）に関する二千二年十月十一日付けの日本国政府とキルギス共和国政府との間で交換された書簡（以下「書簡」といふ。）並びに二千五年三月十日及び十一日にパリで開催されたキルギス共和国政府の代表者と関係債権諸国政府の代表者との間の協議において到達した結論に基づき日本国政府の代表者とキルギス共和国政府の代表者との間で行われた最近の交渉に言及する光栄を有します。本官は、更に、当該交渉において到達した次の了解を確認する光栄を有します。

Sir,
I have the honour to refer to the Notes exchanged between the Government of Japan and the Government of the Kyrgyz Republic, dated October 11, 2002 (hereinafter referred to as "the Notes"), concerning a debt relief measure with respect to the Kyrgyz debts owed to Japan Bank for International Cooperation (hereinafter referred to as "the Bank") and to the recent negotiations between the representatives of the Government of Japan and of the Government of the Kyrgyz Republic that were held on the basis of the conclusions reached during the consultations between the representatives of the Government of the Kyrgyz Republic and of the Governments of the creditor countries concerned held in Paris on March 10 and 11, 2005. I have further the honour to confirm the following understanding reached in the course of the said negotiations:

I

一 前記の書簡の2を次のように改正する。

（1）（1）中「二千四年十一月五日」を「二千五年一月一十八日」に改める。

1. Paragraph 2. of the Notes shall be amended as follows:
(1) The term "December 5, 2004" mentioned in sub-paragraph (1)(c) is deleted and replaced by the term "February 28, 2005".

（2）（2）中「二千一年九千四百八十五万八千五百七円（二千九百四十五万八千五百七円）」を「二千一年九千四百八十五万八千五百七円（二千九百四十五万八千五百七円）」に改める。
（2）（2）中「二千一年九千四百八十五万八千五百七円（二千九百四十五万八千五百七円）」に改める。

2. 前記の書簡の4を次のように改正する。
（2）中「二千一百七十八万千五百四十四円（二千一百七十八万千五百四十四円）」を「二千一百六万四千八百円（二千一百六万四千八百円）」に改める。

二千二年
十月十一日
付けの
書簡
修正
4
の

二千二年
十月十一日
付けの
書簡
修正
4
の

キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極の修正及び債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極

七八四

二千二一年十月十一日付けの新書簡の付表一、付表二及び付表三をもつて、前記の書簡の付表に代える。

3. この書簡に添付されている付表一、付表二及び付表三をもつて、前記の書簡の付表に代える。
Lists 1 to 3 attached to this Note.

II

1 債務繰延方式及び債務支払猶予方式による債務救済措置が、銀行により、日本国との関係法令に従つて行われることとなる。

2(1) 繰り延べられる債務（以下「繰延債務」といふ。）は、キルギス共和国政府が銀行に対して負う次の債務から成る。

債務救済措置

II

円借款の供与に関してキルギス共和国政府と海外経済協力基金（以下「基金」といふ。）との間で二千一年八月三十一日より前に締結された借款契約又はキルギス共和国政府と銀行との間で締結された若しくは締結される債務繰延契約に基いて支払われるべき債務は、次のとおりである。

債務繰延債務の額

表三

債務救済措置

II

(a) 二千五年三月一日現在で償還されていない元本及び二千五年二月二十八日以前に生じた未払の契約上の利子又は繰延利子（その内訳は、この書簡の付表四に掲げられる。）

(b) 二千五年二月二十八日以前に生じた未払の遅延利子（その内訳は、この書簡の付表四に掲げられる。）

(2) 繰延債務の総額は、二百六十二億九千四十万三千百八十六円（二六二・一九〇、四〇一・三八六円）である。

(2) The total amount of the Rescheduled Debts will be twenty-six billion two hundred and ninety million four hundred and one thousand three hundred and eighty-six yen (¥26,290,401,386).

(3) (2)に規定する総額及びこの書簡の付表四は、キルギス共和国政府の関係当局及び銀行が行う最終的照合の後に日本国政府及びキルギス共和国政府の関係当局間の合意により修正されねい」とがある。

(3) Modifications may be made to the total amount referred to in sub-paragraph (2) above and to the List 4 attached hereto by mutual consent between the authorities concerned of the Government of Japan and of the Government of the Kyrgyz Republic, after the final verification to be made by the authorities concerned of the Government of the Kyrgyz Republic and the Bank.

3(1) 債務繰延の条件は、キルギス共和国政府と銀行との間で締結される債務繰延契約（以下「債務繰延契約」という。）であつて、なかんずく次の原則を含むものにおいて規定される。

3. (1) The terms and conditions of the rescheduling will be stipulated in a rescheduling agreement to be concluded between the Government of the Kyrgyz Republic and the Bank (hereinafter referred to as "the Rescheduling Agreement"), which will contain, inter alia, the following principles:

支払猶予
債務の支
払

(a) 繰延債務の総額は、一千十八年九月一日から始まる五十四回の均等半年賦払によって支払われる。

(b) 繰延債務に対し二千五年三月一日から適用される利子率は、年一・三三パーセントである。

(2) 債務繰延契約は、4に定める支払の条件についても規定する。

4(1) 3(1)に規定する債務繰延の条件にかかるべき次の債務（以下「支払猶予債務」という。）は、4に規定する支払計画に従つて支払われる。

支払猶予
債務の支
払

(a) The total amount of the Rescheduled Debts will be paid in fifty-four (54) equal semi-annual installments beginning on September 1, 2018.

(b) The rate of interest on the Rescheduled Debts will be one point three per cent (1.3%) per annum beginning from March 1, 2005.

(2) The Rescheduling Agreement will also stipulate the terms and conditions of the payments provided for in paragraph 4.

4. (1) Notwithstanding the terms and conditions of the rescheduling referred to in sub-paragraph (1) of paragraph 3., the following debts payable under the said terms and conditions (hereinafter referred to as "the Deferred Debts") will be paid in accordance with the payment schedule referred to in sub-paragraph (4) below:

(a) 繰延債務に対して一千五年三月一日から一千五年十一月三十一日までの間（両期日を含む。）に課される利子の八十五ペーセント。当該利子は、一千六年一月一日に元加される。

(b) 繰延債務に対して一千六年一月一日から一千六年十一月三十一日までの間（両期日を含む。）に課

される利子の七十五ペーセント。当該利子は、一千七年一月一日に元加される。

(c) 繰延債務に対して一千七年一月一日から一千七年十一月三十一日までの間（両期日を含む。）に課

される利子の七十ペーセント。当該利子は、一千八年一月一日に元加される。

(d) 繰延債務に対して一千八年一月一日から一千八年十二月三十一日までの間（両期日を含む。）に課

される利子の六十五ペーセント。当該利子は、一千九年一月一日に元加される。

(2) 支払猶予債務の総額は、九億六千八十八万六千五百五十三円（九六一、八八六、五五三円）と見積もられる。

(2) The total amount of the Deferred Debts is estimated at nine hundred and sixty-one million eight hundred and eighty-six thousand five hundred and fifty-three yen (¥961,886,553).

キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極の修正及び債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極

七八六

(3) (2)に規定する総額は、キルギス共和国政府の関係当局及び銀行が行う最終的照合の後に日本国政府及びキルギス共和国政府の関係当局間の合意により修正される」とがある。

(4) 支払猶予債務の総額は、この書簡の附属書に掲げる支払計画に従い、一千一九年九月一日に始まり、十二回の半年賦払によつて支払われる。

(5) 支払猶予債務の各々に対し(1)(a)、(b)、(c)及び(d)に規定する各々の元加の日から適用される利子率は、年一・三バーセントとなる。

5 キルギス共和国の債務（（）の取極が対象とする債務を含む。）の再編に関してキルギス共和国政府の代表者及び関係債権諸国政府の代表者が新たな結論に到達した場合には、日本国政府とキルギス共和国政府との間で、の取極の継続又は修正について討議するための協議が行われる。

(4) The total amount of the Deferred Debts will be paid in thirty-two (32) semi-annual installments beginning on September 1, 2012 in accordance with the payment schedule shown in the Annex attached hereto.

(5) The rate of interest on the Deferred Debts will be one point three per cent (1.3%) per annum beginning respectively from each date of the consolidation mentioned in (a), (b), (c) and (d) of sub-paragraph (1) above.

5. If the representatives of the Government of the Kyrgyz Republic and the representatives of the Governments of the creditor countries concerned come to a new conclusion in connection with reorganization of the Kyrgyz Republic's debts including the debts covered by the present arrangement, consultations shall be held between the two governments in order to discuss the matter of continuation or modification of the present arrangement.

I should be grateful if you would confirm the foregoing understanding on behalf of the Government of the Kyrgyz Republic.

I avail myself of this opportunity to extend to you the assurance of my high consideration.

本官は、貴官が前記の了解をキルギス共和国政府に代わつて確認されれば幸いります。
本官は、以上を申し進める際、(1)貴官に向かつて敬意を表します。
一千五十九年九月十三日にシハユケクで

在キルギス共和国

日本国臨時代理大使 签井達彦

(Signed) Tatsuhiko Kasai
Chargé d'Affaires ad interim
of Japan
to the Kyrgyz Republic

キルギス共和国

財務事務次官

エミール・トロモルザエフ 殿

Mr. Emirlan Toromyrzaev
Permanent Secretary
Ministry of Finance
of the Kyrgyz Republic

キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極の修正及び債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極

七八八

付表一
繰延債務の内訳
(二千二年十月一日付けの書簡の新たな付表一)

付表一

債務の内訳	弁済期日	額	
		元本	契約上の利子
1 千九百九十三年一月一日に日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関するキルギス共和国政府と海外開發協力基金（以下「基金」という。）との間で締結された借款契約（從マヤ政わるべき契約上の利子）	一千零四月十日	○円	九七、一三三、八六六円
2 千九百九十四年十月十九日に日本政府とキルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された借款契約（從マヤ政わるべき契約上の利子）	一千零一年十月二十日	○円	九七、一三三、八六六円
3 千九百九六年六月六日に日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された借款契約（從マヤ政わるべき契約上の利子）	一千零一年五月十日	○円	四六、五九、四七九円
4 千九百九十七年一月七日に日本政府とキルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関するキルギス共和国政府と基金との間で締結された借款契約（從マヤ政わるべき契約上の利子）	一千零一年五月十日	○円	七一、〇〇〇、〇〇〇円
5 千九百九十八年一月七日に日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関するキルギス共和国政府と基金との間で締結された借款契約（從マヤ政わるべき契約上の利子）	一千零一年五月十日	○円	一三、九二、一九二、七〇円
6 千九百九十九年五月二十日に日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関するキルギス共和国政府と基金との間で締結された借款契約（從マヤ政わるべき契約上の利子）	一千零一年十一月二十日	○円	一五、〇六九、一〇〇円
合計		○円	五七七、八三六、三六五円

Period ending on October 31, 1998	Due Date	Principal	Interest	Total
3. This contractual statement concerning principal amount due between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan on October 31, 1998.	Nov. 30, 2002	971,433,497	971,433,497	971,433,497
4. The contractual statement concerning principal amount due between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan on November 1, 1998.	Dec. 31, 2002	45,135,945	45,135,945	45,135,945
5. The contractual statement concerning principal amount due between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan on June 5, 1998.	July 5, 2002	71,000,000	71,000,000	71,000,000
6. The contractual statement concerning principal amount due between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan on April 10, 1999.	May 10, 2002	32,375,400	32,375,400	32,375,400
7. The contractual statement concerning principal amount due between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan on November 17, 1997.	Dec. 17, 2002	22,911,937	22,911,937	22,911,937
8. The contractual statement concerning principal amount due between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan on December 1, 1998.	Jan. 1, 2002	63,965,320	63,965,320	63,965,320
9. The contractual statement concerning principal amount due between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan on October 1, 1999.	Nov. 1, 2002	1,635,945	1,635,945	1,635,945
10. The contractual statement concerning principal amount due between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan on October 31, 1999.	Nov. 30, 2002	47,895,823	47,895,823	47,895,823
11. The contractual statement concerning principal amount due between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan on November 1, 1999.	Dec. 31, 2002	577,435,363	577,435,363	577,435,363

付表二
繰延債務
の内訳
(二千二
年十月十
一日付け
の書簡け
新たな付
表二)

付表一

債務の内訳	弁済期日	額	
		元	本
1. 千九百九十三年十月一日に日本政府・キルギス共和国 政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関する キルギス共和国政府・基金との間で締結された償却契約 に従つて支払われるべき元本及利息の利子	一平三年四月二十日 一平三年十月二十日	〇円	九七、二三三、八七六円
2. 千九百九四年十月二十日に日本政府・キルギス共和国 政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関する キルギス共和国政府・基金との間で締結された償却契約 に従つて支払われるべき元本及利息の利子	一平三年五月二十日 一平三年十一月二十日	一五八、五六〇〇〇円	九七、七六七、二三三円
3. 千九百九十六年六月六日(日本政府・キルギス共和国 政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関する キルギス共和国政府・基金との間で締結された償却契約 に従つて支払われるべき元本及利息の利子	一平三年六月二十日 一平三年六月二十日	〇円	四六、五九、四七九円
4. 千九百九十七年三月十七日(日本政府・キルギス共和国 政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関する キルギス共和国政府・基金との間で締結された償却契約 に従つて支払われるべき元本及利息の利子	一平三年三月二十日 一平三年九月二十日	〇円	七一、〇〇〇〇〇三円
5. 千九百九十八年五月七日(日本政府・キルギス共和国 政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関する キルギス共和国政府・基金との間で締結された償却契約 に従つて支払われるべき元本及利息の利子	一平三年五月二十日 一平三年十一月二十日	〇円	七一、六二、〇〇五円
6. 千九百九九年五月十日(日本政府・キルギス共和国 政府との間で交換された書簡に基づく内債の供与に関する キルギス共和国政府・基金との間で締結された償却契約 に従つて支払われるべき元本及利息の利子	一平三年五月二十日 一平三年十一月二十日	〇円	一〇、六九〇、五二一円
合計		一五八、五六〇〇〇円	五八七、二三三、七五六円
		七四五、七八二、七五六円	

Exhibit 2	Date Issued	Period Covered	Outstanding	Interest Rate
1. This certificate and supplemental statement pertains under the loan documents concerning between the Government of the Kyrgyz Republic and the Government of Japan, dated December 1, 1993.	Dec. 1, 1993	Oct. 1, 2003 - Dec. 31, 2003	128,560,000	5.125% p.a.
2. This certificate and supplemental statement pertains on the Kyrgyz Republic and the Government of the Kyrgyz Republic, dated on the execution of the loan agreement between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan, dated October 1, 1994.	Oct. 1, 1994	May 15, 2003 - Nov. 21, 2003	0	5.125% p.a.
3. This certificate and supplemental statement pertains on the Kyrgyz Republic and the Government of the Kyrgyz Republic, dated on the execution of the loan agreement between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan, dated October 1, 1996.	Oct. 1, 1996	June 15, 2003 - July 15, 2003	0	5.125% p.a.
4. This certificate and supplemental statement pertains on the Kyrgyz Republic and the Government of the Kyrgyz Republic, dated on the execution of the loan agreement between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan, dated March 17, 1997.	Mar. 17, 1997	June 15, 2003 - July 15, 2003	0	5.125% p.a.
5. This certificate and supplemental statement pertains on the Kyrgyz Republic and the Government of the Kyrgyz Republic, dated on the execution of the loan agreement between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan, dated May 7, 1998.	May 7, 1998	June 15, 2003 - July 15, 2003	0	5.125% p.a.
6. This certificate and supplemental statement pertains on the Kyrgyz Republic and the Government of the Kyrgyz Republic, dated on the execution of the loan agreement between the Kyrgyz Republic and the Government of Japan, dated May 10, 1999.	May 10, 1999	June 15, 2003 - July 15, 2003	0	5.125% p.a.
7. Total		128,560,000	5.125% p.a.	

キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極
措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極

キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極の修正及び債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極

七九〇

付表二

年十月十二
一日付け
の書簡の
新たな付
表三)

付表二

債務の内訳 (二千二)	債務の内訳		弁済期日	元本	額
	債務の内訳	元本			
1 千九百九十三年十月一日に日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく借款の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された借款契約に従つて支払われるべき元本及び契約上の利子	一千四年四月十日 一千四年十月十日 一五八、五三六、〇〇〇円	九五、三八二、二〇七円 九一、九九七、六五一円	一千四年四月十日 一千四年十月十日 一五八、五三六、〇〇〇円	九五、三八二、二〇七円 九一、九九七、六五一円	一千四年四月十日 一千四年十月十日 一五八、五三六、〇〇〇円
2 千九百九四年十月十九日に日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく借款の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された借款契約に従つて支払われるべき元本及び契約上の利子	一千四年五月十日 一千四年十一月二十日 七六、一八〇、〇〇〇円	四六、七七八、四九三円 四七、一九〇、五〇〇円	一千四年五月十日 一千四年十一月二十日 七六、一八〇、〇〇〇円	四六、七七八、四九三円 四七、一九〇、五〇〇円	一千四年五月十日 一千四年十一月二十日 七六、一八〇、〇〇〇円
3 千九百九六年六月六日以降日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく借款の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された借款契約に従つて支払われるべき契約上の利子	一千三年十一月三十日 一千四年六月十日 〇円	七一、〇〇〇、〇〇〇円 七一、〇〇〇、〇〇〇円	一千三年十一月三十日 一千四年六月十日 〇円	七一、〇〇〇、〇〇〇円 七一、〇〇〇、〇〇〇円	一千三年十一月三十日 一千四年六月十日 〇円
4 千九百九十七年十月十七日に日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく借款の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された借款契約に従つて支払われるべき契約上の利子	一千四年三月三十日 一千四年九月三十日 〇円	一九、〇五五、四〇六円 一九、〇五五、四〇六円	一千四年三月三十日 一千四年九月三十日 〇円	一九、〇五五、四〇六円 一九、〇五五、四〇六円	一千四年三月三十日 一千四年九月三十日 〇円
5 千九百九十八年十一月七日に日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく借款の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された借款契約に従つて支払われるべき契約上の利子	一千四年五月十日 一千四年十一月二十日 〇円	三一、五七九、〇九八円 三四、八〇八、六四六円	一千四年五月十日 一千四年十一月二十日 〇円	三一、五七九、〇九八円 三四、八〇八、六四六円	一千四年五月十日 一千四年十一月二十日 〇円
6 千九百九十九年五月十二日に日本政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡に基づく借款の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された借款契約に従つて支払われるべき契約上の利子	一千四年五月十日 一千四年十一月二十日 一〇、八〇四、八四三円 一一、〇三三、四六八円	三四、八〇八、六四六円 一〇、八〇四、八四三円 一一、〇三三、四六八円	一千四年五月十日 一千四年十一月二十日 一〇、八〇四、八四三円 一一、〇三三、四六八円	三四、八〇八、六四六円 一〇、八〇四、八四三円 一一、〇三三、四六八円	一千四年五月十日 一千四年十一月二十日 一〇、八〇四、八四三円 一一、〇三三、四六八円
合計	三九二、三五二、〇〇〇円	六三一、一〇一、〇一七円	一、〇五、四五五、〇一七円	一、〇五、四五五、〇一七円	一、〇五、四五五、〇一七円

Period of Payment of Debts	Date Due	Period of Settlement		Remarks
		Period of Settlement	Date Due	
1. The principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on October 1, 1993.	1994.04.10	1994.04.10	1994.04.10	Interest rate: 1.0% per annum
2. Other principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on October 1, 1994.	1995.01.10	1995.01.10	1995.01.10	Interest rate: 1.0% per annum
3. Other principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on November 1, 1994.	1996.01.10	1996.01.10	1996.01.10	Interest rate: 1.0% per annum
4. Other principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on December 1, 1994.	1997.01.10	1997.01.10	1997.01.10	Interest rate: 1.0% per annum
5. The principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on October 1, 1995.	1998.01.10	1998.01.10	1998.01.10	Interest rate: 1.0% per annum
6. The principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on May 12, 1996.	1999.05.10	1999.05.10	1999.05.10	Interest rate: 1.0% per annum
7. The principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on November 12, 1997.	2000.01.10	2000.01.10	2000.01.10	Interest rate: 1.0% per annum
8. The principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on December 12, 1997.	2001.01.10	2001.01.10	2001.01.10	Interest rate: 1.0% per annum
9. The principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on May 12, 1998.	2002.05.10	2002.05.10	2002.05.10	Interest rate: 1.0% per annum
10. The principal and compensation due under the loan contract between the Government of Japan and the Government of Kyrgyzstan concluded on November 12, 1999.	2003.01.10	2003.01.10	2003.01.10	Interest rate: 1.0% per annum

付表
四

付表四

債務の内訳	元本	額
	元本	契約上の利子
1 千九百九十三年一月一日に日本国政府・キルギス共和国政府との間で締結された書簡基づく債務の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された債務契約に從つて支払われるべき千五百三月一日現在、償還されない元本及び至近の利息支払日から一千五年三月二十八日までの間（兩日を含む）に生じた契約上の利子	六〇八九、七一八、一六六円	六、〇八九、七一八、一六六円
2 千九百九十四年一月二十日以降に日本国政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡基づく債務の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された債務契約に従つて支払われるべき千五年三月一日現在、償還されない元本及び至近の利息支払日から一千五年三月二十八日までの間（兩日を含む）に生じた契約上の利子	一一〇五〇、七一〇、〇〇〇円	一一〇五〇、七一〇、〇〇〇円
3 千九百九十六年六月六日以降に日本国政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡基づく債務の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された債務契約に従つて支払われるべき千五年三月一日現在、償還されない元本及び至近の利息支払日から一千五年三月二十八日までの間（兩日を含む）に生じた契約上の利子	一五、三三五、一五五円	三、〇七六、〇四五、一五五円
4 千九百九十七年一月十七日以降に日本国政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡基づく債務の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された債務契約に従つて支払われるべき千五年三月二十八日までの間（兩日を含む）に生じた契約上の利子	一七、五四六、四四八円	五、三六二、六四、〇八一円
5 千九百九十八年一月七日以降に日本国政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡基づく債務の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された債務契約に従つて支払われるべき千五年三月二十八日までの間（兩日を含む）に生じた契約上の利子	一七、四一九、四三三円	四、四四九、九〇八、五四一円
6 千九百九十九年五月十日以降に日本国政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡基づく債務の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された債務契約に従つて支払われるべき千五年三月二十八日までの間（兩日を含む）に生じた契約上の利子	一七、三一八、〇〇〇円	一、一、五四五、五四五円
7 二千一年十月十日以降に日本国政府・キルギス共和国政府との間で交換された書簡基づく債務の供与に関するキルギス共和国政府・基金との間で締結された債務契約に従つて支払われるべき千五年三月二十八日までの間（兩日を含む）に生じた契約上の利子	一一、三一四、一一八、九九〇円	一、一、五四五、五四五円
8 キルギス共和国政府と銀行との間で締結される債務延滞契約に従つて支払われるべき千五年三月二十八日までの間（兩日を含む）に生じた契約上の利子	七一、〇〇〇、〇〇〇円	一、四八、五九七円
9 二千五年一月二十八日以前生じた未払の遅延料	一九、三、一三一、四七八円	七一、一五〇、四〇一、三八六円
合計	一六、〇九七、一六九、九〇八円	一一、三一四、一一八、九九〇円

キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極

キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極の修正及び債務救済
措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極

二六一一

附 屬 書

附属書

ANNEX

1) 十二一年九月一日	○・一・八バーセント	0.28%	on	September 1, 2012
1) 十三年三月一日	○・三・八バーセント	0.38%	on	March 1, 2013
1) 十三年九月一日	○・四・八バーセント	0.48%	on	September 1, 2013
1) 十四年三月一日	○・五・八バーセント	0.58%	on	March 1, 2014
1) 十四年九月一日	○・七・〇バーセント	0.70%	on	September 1, 2014
1) 十五年三月一日	○・八・二バーセント	0.82%	on	March 1, 2015
1) 十五年九月一日	○・九・四バーセント	0.94%	on	September 1, 2015
1) 十六年三月一日	一・〇・八バーセント	1.08%	on	March 1, 2016
1) 十七年三月一日	一・三・六バーセント	1.22%	on	September 1, 2016
1) 十七年九月一日	一・五・二バーセント	1.36%	on	March 1, 2017
1) 十八年三月一日	一・七・〇バーセント	1.52%	on	September 1, 2017
1) 十八年九月一日	一・八・六バーセント	1.70%	on	March 1, 2018
1) 十九年三月一日	一・〇・六バーセント	1.86%	on	September 1, 2018
1) 十九年九月一日	一・一・六バーセント	2.06%	on	March 1, 2019
1) 十二十年三月一日	一・四・一バーセント	2.26%	on	September 1, 2019
1) 十二十年九月一日	一・六・八バーセント	2.42%	on	March 1, 2020
1) 十一年三月一日	二・六・八バーセント	2.68%	on	September 1, 2020
1) 十一年九月一日	二・九・二バーセント	2.92%	on	March 1, 2021
1) 十二年三月一日	三・一・八バーセント	3.18%	on	September 1, 2021
1) 十二年九月一日	三・四・四バーセント	3.44%	on	March 1, 2022
1) 十二年十一月一日	三・七・〇バーセント	3.70%	on	September 1, 2022
1) 十二年十二月一日	四・九・二バーセント	4.00%	on	March 1, 2023
1) 十二年十一月一日	四・一・八バーセント	4.30%	on	September 1, 2023
1) 十二年十二月一日	四・四・四バーセント	4.64%	on	March 1, 2024
1) 十二年十一月一日	四・七・〇バーセント	4.98%	on	September 1, 2024
1) 十二年十二月一日	四・九・八バーセント	5.34%	on	March 1, 2025
1) 十二年十一月一日	四・〇・〇バーセント	5.72%	on	September 1, 2025
1) 十二年十二月一日	四・三・〇バーセント	6.12%	on	March 1, 2026
1) 十二年十一月一日	四・六・四バーセント	6.63%	on	September 1, 2026
1) 十二年十二月一日	四・九・八バーセント	7.09%	on	March 1, 2027
1) 十二年十一月一日	五・三・四バーセント	7.55%	on	September 1, 2027
1) 十二年十二月一日	五・七・二バーセント	8.05%	on	March 1, 2028

二二二一六年三月一日
二二二一六年九月一日
二二二十七年三月一日
二二二十七年九月一日
二二二十八年三月一日

六・一二パーセント
六・六三パーセント
七・〇九パーセント
七・五五パーセント
八・〇五パーセント

キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極の修正及び債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極

十六回

（キルギス側書簡）

（Kyrgyz Note）

キルギス
側書簡

（訳文）

書簡をもつて啓上いたします。本官は、本日付けの貴官の次の書簡を受領したいとを確認する光榮を有します。

（日本側書簡）

本官は、更に、貴官の書簡に述べられた了解をキルギス共和国政府に代わって確認する光榮を有します。

本官は、以上を申し進めるに際し、いりに貴官に向かつて敬意を表します。

一千五百九月十三日にジン・ユケクで

Sir,

I have the honour to acknowledge the receipt of your Note of today's date, which reads as follows:

"(Japanese Note)"

I have further the honour to confirm on behalf of the Government of the Kyrgyz Republic the understanding set forth in your Note.

I avail myself of this opportunity to extend to you the assurance of my high consideration.

Bishkek, September 13, 2005

キルギス共和国
財務事務次官 Emirlan Toromyraev
H·ル(ハ)・ムロマルザエフ
（Signed） Permanent Secretary
Ministry of Finance
of the Kyrgyz Republic

在キルギス共和国
日本国臨時代理大使 签井達彦殿

Mr. Tatsuhiko Kasai
Chargé d'Affaires ad interim
of Japan to the Kyrgyz Republic

(参考)

この取極は、平成十四年十月十一日に署名されたキルギスとの債務救済措置取極（平成十四年・十五年二国間条約集参照）を修正すること、また、我が国に対するキルギスの債務の元本及び利子のうち一定のものにつき、その返済を繰り延べることについての両政府の了解を確認したものである。

キルギスとの債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極の修正及び債務救済措置（債務繰延方式及び債務支払猶予方式）取極